

校番	8	学校名	広島県立三原東高等学校	校長氏名	波多野 徹	全	本
----	---	-----	-------------	------	-------	---	---

1 ミッション(地域社会における自校の使命)

地域の信頼と期待に応えるため、知・徳・体を備えた次代の地域を担う人材を育成する。

2 ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像)

- ① 主体的な学びへの変革を通して生徒の学力向上及び進路希望の実現を図る学校
- ② 規範意識を醸成し、生徒の自己指導能力の育成を図る学校
- ③ 部活動及び特別活動を通して地域の信頼と期待に応える学校

3 育てたい生徒像

- 三原東スピリット(「開拓者精神」「進取の精神」「利他の精神」)を身に付けた生徒を育成する。
- ① 社会で自立するために必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒
 - ② 将来の夢や進路希望を実現するため、不屈の闘志を発揮して果敢に挑戦し続ける生徒
 - ③ 社会の一員として自己の役割と責任を自覚し、自ら考え適切に判断・行動できる生徒
 - ④ 他者や社会に対して感謝と思いやりの心を持って行動し、地域に貢献できる生徒

4 環境分析

(1) SWOT分析

	外部環境	内部環境
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地元政財界及び保護者の中に本校の卒業生が多い。そのため、本校に対する地域の関心が高く、三原市内の中学校出身生徒割合が高い。 ・PTA活動に熱心で、保護者は学校行事に積極的に参加している。 ・学校が市内中心部に近い平地に位置しており、公共交通機関及び自転車通学の利便性が高い。 ・近隣に小・中学校、市内に県立大学があり、相互の連携を図りやすい。 ・大学からの指定校推薦及び企業の求人依頼が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素直で素朴な生徒が多く、ボランティア活動や地域行事に積極的に参加する。 ・多様な進路希望に応じた丁寧な進路指導が行われている。 ・体育館や格技場、トレーニングルーム、セミナーハウスなどの施設があり、部活動に打ち込める環境が整っている。 ・生徒の国際感覚を育成するため、台湾の桃園市立平鎮高級中學と定期的に姉妹校交流を行っている。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に参加する保護者が固定化している。 ・地域からの期待や要望に応え切れていない。 ・三原市内の中学校の生徒数の状況に伴って、本校への志願者数も影響を受けている。 ・自転車の通学マナーや校外での生徒の行動に対して地域から苦情を受けることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力や家庭学習習慣が十分身に付いていない生徒、自己肯定感の低い生徒が見られる。 ・状況に応じて自ら考え、適切に判断・行動する力に課題のある生徒が見られる。 ・部活動加入率、定着率の向上が課題である。

(2) 戦略の決定

- ① 教員の授業力向上を図り、学びの変革アクション・プランに基づいた能動的で学習者基点の深い学びに変革することを通して生徒の学力向上を図る。
- ② キャリア教育の充実により生徒の進路意識を向上させ、生徒個々に応じたきめ細かな進路指導を行う。
- ③ 丁寧な生徒指導により規範意識の醸成を図り、状況に応じて適切な判断・行動ができる生徒を育成する。
- ④ 部活動と特別活動の活性化を図り、生徒の自己肯定感を向上させる。
- ⑤ 桃園市立平鎮高級中學との姉妹校交流を促進し、グローバル感覚を持った生徒を育成する。
- ⑥ 広報活動の充実を図るとともに、ボランティア活動や地域行事等への参加を通して生徒の地域貢献を促進する。

(3)基礎データ

① 本校の志願状況

年度	選抜(Ⅰ)		選抜(Ⅱ)	
	志願者数	倍率	志願者数	倍率
平成26年度	46人	1.44倍	120人	0.94倍
平成27年度	42人	1.31倍	125人	0.98倍
平成28年度	38人	1.19倍	103人	0.80倍
平成29年度	38人	1.19倍	124人	0.97倍

*選抜(Ⅰ)では、定員を超えるが、選抜(Ⅱ)では定員を下回る。

② 地域別入学者

年度	三原市	尾道市	その他
平成26年度	90.8%	5.2%	3.9%
平成27年度	89.3%	10.0%	0.7%
平成28年度	80.3%	14.4%	5.3%
平成29年度	83.9%	11.4%	4.7%

*尾道市からの入学者が10%台で推移している。

③ 進路決定状況

年度	進学				就職			その他	卒業者
	大学	短大	専修 各種学校	計	県内	県外	計		
平成25年度	25名 (26%)	10名 (10%)	38名 (39%)	73名 (75%)	17名 (17%)	0名 (0%)	17名 (17%)	8名 (8%)	98名
平成26年度	29名 (24%)	8名 (7%)	56名 (47%)	93名 (78%)	21名 (17%)	0名 (0%)	21名 (17%)	6名 (5%)	120名
平成27年度	39名 (28%)	6名 (4%)	55名 (40%)	100名 (72%)	22名 (16%)	1名 (1%)	23名 (17%)	16名 (11%)	139名
平成28年度	28名 (21%)	5名 (4%)	70名 (52%)	103名 (77%)	20名 (15%)	0名 (0%)	20名 (15%)	10名 (8%)	133名

*進学者の割合は、70%台で推移している。

④ 広島県学力調査で通過率60%以上の生徒の割合(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	外国語A	外国語B
平成25年度	49.3	55.9	35.9	32.2	25.2	35.0
平成26年度	71.2	35.2	25.7	12.8	30.7	22.2
平成27年度	39.9	40.0	21.0	18.3	25.2	16.7
平成28年度	43.8	40.0	32.1	28.2	28.7	27.3

*平成28年度は、通過率60%以上の科目が前年度より増えた。

⑤ 部活動加入率

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
62.1%	67.5%	61.9%	65.0%

*加入率は60%台で推移している。

⑥ ボランティア活動参加

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
300人	339人	390人	416人

*ボランティアに参加する生徒は、年々増加している。

平成26年度		平成27年度		平成28年度	
7月	マイロード花壇の球根・苗植え作業	7月	マイロード花壇の球根・苗植え作業	8月	総文祭運営委員
11月	マイロード花壇の球根・苗植え作業	11月	マイロード花壇の球根・苗植え作業	11月	マイロード花壇の球根・苗植え作業
3月	わくばら広場植樹	2月	わくばら広場植樹	2月	和久原川一斉清掃活動
年3回	音楽部による演奏活動(病院等)	年3回	音楽部による演奏活動(病院等)	年3回	音楽部による演奏活動(病院等)
年5回	通学路の清掃活動	年5回	通学路の清掃活動	年5回	通学路の清掃活動

⑦ 遅刻者数

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
24.7 人/1 日	17.7 人/1 日	15.8 人/1 日	12.6 人/1 日

* 遅刻者数は、年々減少している。

⑧ 三原東高校生は、有意義な学校生活を送っている。

年度	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
平成 25 年度	28.5%	47.5%	17.1%	6.9%
平成 26 年度	26.7%	43.4%	20.6%	9.3%
平成 27 年度	28.6%	48.7%	14.0%	8.7%
平成 28 年度	36.9%	43.5%	14.0%	5.6%

* 有意義な学校生活を送っていると考える生徒が多い。

⑨ 地域社会の要望に応える教育活動を行っている。

年度	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
平成 25 年度	15.0%	59.5%	24.8%	0.7%
平成 26 年度	18.9%	61.2%	18.0%	1.9%
平成 27 年度	25.3%	57.1%	16.2%	1.4%
平成 28 年度	30.0%	57.9%	11.0%	1.1%

* 年々評価が高まっている。

5 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値	目標値			担当部等
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
1 主体的な学びへの変革を通して生徒の学力向上及び進路希望の実現を図る学校						
受動的な学びから主体的・能動的な学びへ変革し、生徒の学習意欲及び学力の向上を図る。	高等学校学力調査の2年生の平均通過率と前の年の1年生の平均通過率との差	+0.6%	+1.0%	+2.0%	+3.0%	教務
	「自分から進んで勉強する」生徒の割合	29.3%	35.0%	40.0%	45.0%	教務
生徒が高いキャリア意識を持ち、進路目標を実現している。	進路希望(3年8月)の達成率および大学・短大の進学率	87% 25%	90% 30%	93% 35%	95% 40%	進路
	進路希望調査(1, 2年)の進路希望決定率	84%	86%	88%	90%	進路
2 規範意識を醸成し、生徒の自己指導能力の育成を図る学校						
生徒が規範意識、協調性を高め、責任ある行動がとれる。	指導票3枚以上の指導を受けなかった生徒の割合	87%	89%	91%	93%	生徒指導
	月3回以上の遅刻指導を受けなかった生徒の割合	91%	93%	95%	97%	生徒指導
生徒が自律的な態度を身に付け、基本的な生活習慣を確立している。	1年間精勤を達成した割合	15%	17%	19%	20%	各学年

3 部活動及び特別活動を通して地域の信頼と期待に応える学校

質の高いスピーディーな情報発信をし、地域との信頼を深める。	「東高便り」の発行及びHP更新で地域に配信した回数	40	42	44	46	総務
地域と積極的に連携することで、地域の期待に応える。	ボランティア活動に参加したことがある生徒の割合	新規	50%	65%	80%	総務 (生徒指導)
意欲的に学校生活を送らせるために、課外活動、特に部活動に積極的に取り組ませる。	部活動の加入率加入率	65%	70%	75%	80%	生徒指導

6 行動計画

学校経営目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 主体的な学びへの変革を通して生徒の学力向上及び進路希望の実現を図る学校			
受動的な学びから主体的・能動的な学びへ変革し、生徒の学習意欲及び学力の向上を図る。	総合的な学習の時間における課題研究「魅力的な三原市にするために」について、昨年度、生徒が提案した解決案を1つ以上実施する。	総合的な学習の時間における課題研究「魅力的な三原市にするために」を継続し、課題解決法、プレゼンテーション能力を身に付けるとともに、学ぶことの楽しさを実感することで、他の教科の学習意欲も向上する。	教務
	「評価方法」をテーマに設定し、アクション・プラン会議を中心に、研究を行う。また、研究成果を教科会議や公開研究授業を通して全体で共有する。	教員同士が日常的に授業を互見し、授業方法や工夫、改善点等をお互いに指摘し、話し合える状況になる。その結果、教員の授業力が向上し、生徒の授業へ向かう姿勢も向上する。	教務
生徒が高いキャリア意識を持ち、進路目標を実現している。	指定校は例年3年2学期に公開していたが、3年1学期から公開し、学習意欲の向上と大学・短大の進学率の向上を図る。学費においても奨学金制度を含めて学習する。	先輩の進路決定を受けて、より高い進路目標に挑戦し、毎年成果を上げていく。	進路
	キャリア教育で「魅力的な三原市にするために」の課題研究を始めた。この授業をより充実させ、自分のやりたい仕事、三原市に貢献する仕事を見つけ、進路希望決定に繋げる。	学部・学科及び指定校・AO入試を研究し進路希望決定による学習意欲の向上に繋げる。学費・奨学金制度も調べる。	進路
2 規範意識を醸成し、生徒の自己指導能力の育成を図る学校			
生徒が規範意識、協調性を高め、責任ある行動がとれる。	指導票を活用するに当たり、研修会などによって、教職員の意識統一を図る。	生徒指導規程の徹底を図るとともに、指導票を積極的に活用した指導を行う。	生徒指導
	遅刻を繰り返す生徒に、学年会を中心として組織的に対応し、取り組みを強化する。また、家庭との連携を密にする。	その日の遅刻に対する指導はその日の内に迅速に対応する。また遅刻を繰り返す生徒に生活習慣の改善を促す説諭を行う。	生徒指導

	生徒が自律的な態度を身に付け、基本的な生活習慣を確立している。	学年会で遅刻者に対する指導をその日に実施する。 学年目標を設定し遅刻者数を減らす取組みを実施する。	学校生活のすべての場面において時間を守ることができる。	各学年
--	---------------------------------	--	-----------------------------	-----

3 部活動及び特別活動を通して地域の信頼と期待に応える学校

質の高いスピーディーな情報発信を行い、地域との信頼を深める。	定期的に「東高便り」を地域に配付し、学校ホームページを更新することを通して地域に新しい情報を発信する。地域からの信頼が深まるように、有益でかつわかりやすい内容の情報にする。	ホームページのシステムを刷新し、ホームページを更新しやすい環境を構築する。また、継続して「東高便り」等を地域に配信する。	総務
地域と積極的に連携することで、地域の期待に応える。	ボランティア活動の年間予定を全体に周知し、幅広い層の参加者を公募し、校外清掃も継続して実施する。参加人数のみにこだわらず、ボランティア活動が質的に向上するように参加者の士気を高める。	地域の人々と連携し、地域の期待に応えられるように、積極的かつ意欲的にボランティア活動に参加する生徒を増やす。ボランティア活動に対する意識を高揚させ、公共の精神を涵養する。	総務 (生徒指導)
意欲的に学校生活を送らせるために、課外活動、特に部活動に積極的に取り組ませる。	新入生への入部勧誘活動を、より積極的に行うとともに、地域に活動状況を発信する。	部活動加入率を上げるとともに、入部後の活動の定着を図る。また、活動状況を地域に積極的に紹介するため HP 等を活用する。	生徒指導